

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5-b	介護計画に沿ったケアが実践できているか？支援した内容の記録が少ない	介護計画に沿ったケアと記録ができるようになる	実践はしているが記録にも記入するようにする	6 か月	
2	5-c	日々の暮らしの様子や支援した具体的内容を個別に記録している	支援した具体的内容を個別に記録できるようにする	記録に職員の対応、対応後の様子の欄があるので記入する	6 か月	
3	17-I	献立のバランス調理方法などについて定期的に話し合い偏りがないように配慮しているか	献立のバランス調理方法などについて定期的に話し合う様にする	その日の食材や職員の得手不得手も踏まえて利用者の好き嫌いも考えながら上手にやりくりする	6 か月	
4	18-E	利用者の力を引き出しながら口の中の汚れやにおいが生じないように口腔の清潔を日常的に支援する	朝・夕だけでなく昼食後を行う	朝・昼・夕食後必ず口腔ケア行う	1 か月	
5	26-C	五感に働きかける様々な刺激を生活空間の中に取り入れる	季節感を感じる物品を置くようにする	壁を利用して季節の花などを飾るようにする	3 か月	

6	37-G	事業所の運営上の事柄や出来事について都度報告する	機器の導入設備改修についても報告する	毎月家族へ送付する手紙に「しいのみからのお知らせ」と吹き出しを作るようにする	1 か月	
7	49-D	評価結果と目標達成計画を視聴地域(包括支援センター運営推進会議メンバー家族等に報告し今後の取り組みのモニターをしてもらっている	モニターをしてもらうようにする	コロナで直接の意見は難しいがFAXやメールを使って取り組むようにする	6 か月	
8	50-E	地域住民や消防署、近隣の他事業所と日頃から連携を図り、合同の訓練や話し合う機会をつくるなど協力支援体制を確保している	地域との協力支援体制作りをすすめる	近所の高齢化外人が多くなりむずかしいところもある	6 か月	
9	51-E	地域活動を協働しながら行っている	地域のケア拠点として地域活動を協働しながら行うような取り組みについて検討する	最低限でも近所のあいさつや玄関先の清掃をする	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓ 該当するものすべてに○印 )	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )